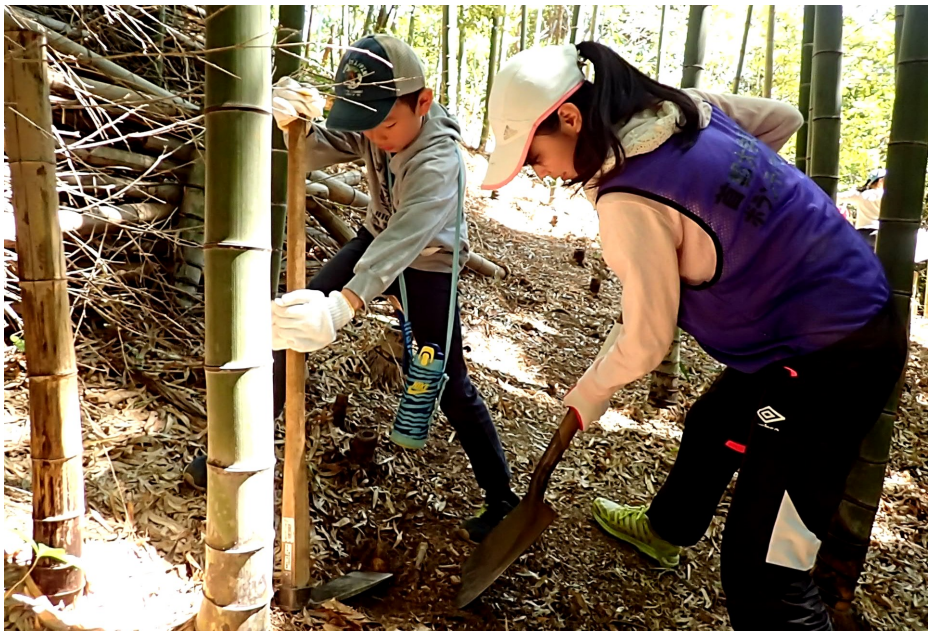

地域
ボランティアプログラム

プレ企画
「タケノコ掘り」報告

2018/4/14,21,28

みんなで一緒にたけのこ掘りin首都大・松木日向緑地

4月14日（土）・21日（土）・28日（土）、「地域ボランティアプログラム」のプレ企画として、ひなた緑地遊学会（以下、遊学会と言う）の方々のご協力のもと、「みんなで一緒にたけのこ掘りin首都大・松木日向緑地」を実施しました。

近隣の小学校の親子や障がいのある方々を招いて行われたこの企画は、今年で3回目（遊学会が単独で開催したものも合わせると5回目）となります。

4月15日（日）の活動は、雨天予報のため中止となってしまいました。参加予定だった学生や地域の方にとっては残念な結果となってしまいましたが、昨年に比べ、今年はたけのこがかなりの豊作で、参加してくださった多くの学生や地域の方が、楽しそうにたけのこを掘り、収穫を喜ぶ様子が印象的でした。

・「自立ステーションつばさ」との活動

14日は、障がい者の自立支援をしている団体「自立ステーションつばさ（以下、つばさと言う）」のメンバーと関係者、姉妹団体の方、合わせて約30人と共に活動を行いました。つばさの方々とは、普段から色々な形で連携させていただいており、この企画も昨年度に続き2回目の参加となりました。昨年参加された方は、今年のたけのこ掘りを楽しみにしてくださっていたそうです。本学からは、今回が初めての参加となる学生3人、職員2人が参加しました。

昨年に比べ、今年はたけのこが豊作であったこともあり、参加者の方々は次から次へとたけのこを見つけていました。片手ほどの大きさから顔より大きいものまで、形も大きさもバラバラなたけのこが袋一杯に集まりました。車いすで参加してくださった方や足の不自由な方も落ち葉でふかふかの地面に座りながら、学生ボランティアと一緒に楽しそうにたけのこを収穫していました。

遊学会の方のお話によると、以前は枯れた竹が多くあり、たけのこもあまり生えてこなかったそうです。そのため、竹を切り、地面に光があたるようにしたとのことでした。日頃から竹林を整備している方々のおかげで自然の恵みを得られるのだと実感しました。

斜面で踏ん張ったり、一生懸命に土を掘ったりして、ほどよい疲れが心地良く感じられました。つばさの皆さんも、新緑の中で活動し、春を満喫したようでした。

・地域の小学校との活動

21日は愛宕小学校、28日は南大沢小学校と柏木小学校を招待し、それぞれ親子と先生方あわせて約100人、約120人が参加してくれました。本学からは、それぞれ学生7人職員2人、学生16人職員1人が参加しました。両日とも、気温が25度を超え、額の汗を拭いながらの活動となりました。

注意事項の説明があった後、竹林の中を各々進んで行き、注意深く地面を見つめ、たけのこを探しました。たけのこをすぐに見つけた子もいれば、なかなか見つけられない子もいました。しかし、粘り強く探すことで、参加者全員が自分の力でたけのこを見つけることができました。

学生ボランティアは、子どもたちの傍に寄り添いながら活動のサポートをしました。根元から綺麗にたけのこが採れるよう、一緒に土を掘ったり、斜面から落ちないように支えてあげたりすることで、子どもたちが安全に楽しくたけのこを掘ることができました。1時間後には、どの親子も持参した袋いっぱいのたけのこを抱えていました。

たけのこ掘りの後、小学校中学年以上の子どもたちは、遊学会の方々のご指導の下で竹の「間伐体験」をしました。のこぎりで竹を切っていくと、次第に傾いていき、ゆっくりと倒れます。子どもたちの表情には、自分たちの背丈の何倍もある竹を倒した達成感と興奮が満ちていました。さらに、細かく切った竹をコップや一輪挿しとして家に持って帰った親子もいました。

自分の手で採ったたけのこや切った竹が、食べ物や家具として自分の生活に生かされることを知り、改めて自然とのかかわり方を考える機会となりました。

・参加者からの声

小学生や自立ステーションつばさの方からは、「たけのこがたくさん採れて嬉しかった」、「大学生のお兄さん、お姉さんありがとうございました」などの感想をいただきました。

自立ステーションつばさの方々との活動

車いすで参加してくださった方は2人。竹林に入るまでには急傾斜の坂道や凹凸のある道など様々なバリアがありました。

しかし、段差の大きな場所では、学生ボランティアが車椅子の向きを変えたり、持ち上げて運んだりと、臨機応変に対応し、安全に竹林まで誘導していました。

みんなで活動の振り返り

参加したみんなで活動の振り返りをしました。地面から生えているたけのこを初めて見たという学生もいましたが、参加者の方々と楽しくたけのこを掘ることができたようです。

また、振り返りの際に、学生ボランティアの一人が特技のジャグリングを披露してくれました。学生いわく、「まだ練習中」とのことでしたが、クラブ（ボウリングのピンのような形のもの）が、リズムよく宙を舞う様子に、参加者の方々から歓声が上がっていました。